

# 1. 履修案内

## 履修コースについて

本研究科では、教育内容に応じて、下記の①～⑥のとおり6つの履修コースを開設しています。

### ①一般コース

#### 【コース概要】

「一般コース」とは、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科がこれまで実績をあげてきた共通コア科目（研究方法論基礎・応用と課題研究）及び専門科目により研究手法の取得と論文の作成をおこなうコースです。平成20年度からは、さらに学際的な内容に対応できるよう専門科目に「副科目」制を導入し、他の専攻分野の指導を受ける体制を整えています。

#### (1) 履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（所定様式）を担当係まで提出してください。

#### (2) 履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、30単位です。

共通コア科目及び専門科目として、所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位並びに他の専攻分野の「講義・演習」又は選択プログラムを4単位履修してください。

	単位数	年次ごとの単位修得 (例)			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	5	----->	5		
研究方法論応用	4	----->	4		
課題研究	5	----->		5	
専門科目					
主科目 講義・演習 (所属する専攻分野)	4	2	2		
演習・実習 (所属する専攻分野)	8	4	4		
副科目1 講義・演習 (他の専攻分野)	2	2			
副科目2 又は選択プログラム	2		2		
計	30				

#### (3) 共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバス等を参照の上履修してください。

#### (4) 主科目について

主科目は、所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位を履修する必要があります。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上、履修してください。

#### (5) 副科目について

他の専攻分野の「講義・演習」を履修する場合、授業担当教授（他の専攻分野）の許可を得て「履修計画表」を提出してください。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。授業の履修方法等については、授業担当教授と相談してください。

選択プログラムを履修する場合、14頁「⑧選択プログラムに関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

## ②臨床専門医コース（医学系）

### 【コース概要】

平成19年度設置の「臨床専門医コース」は、高度な専門的臨床能力の習得及び臨床研究を理解し実践できる能力を取得することを目的としたコースです。全人的な視野を持った患者診療ならびに国際的視野を持った臨床研究の取得も目指し、近年の専門医制度と同調し、専門医資格取得のための準備期間としても役立つコースです。

具体的には、共通コア科目として「疫学」「医療統計学」「臨床研究・疫学実践論」を履修するとともに、専門科目を履修します。副科目として他の専攻分野の指導をうけることや下記の「選択プログラム」を履修することにより広範な学際性も身に付けることができます。

このコースには次の専攻分野が参加しています。

眼科学、麻酔・蘇生学、救急医学、精神神経病態学、脳神経内科学、発達神経病態学、脳神経外科学、腎・免疫・内分泌代謝内科学、皮膚科学、腫瘍・胸部外科学、泌尿器病態学、血液・腫瘍・呼吸器内科学、放射線医学、産科・婦人科学、総合内科学、整形外科学、形成再建外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学

### （1）履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（所定様式）を担当係まで提出してください。

### （2）履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、30単位です。

共通コア科目及び専門科目として、所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位並びに他の専攻分野の「講義・演習」又は選択プログラムを4単位履修してください。

	単位数	年次ごとの単位修得（例）			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	3			-----→	3
研究方法論応用 (疫学・医療統計学・臨床研究疫学実践論)	6			-----→	6
課題研究	5			-----→	5
専門科目					
主科目 講義・演習（所属する専攻分野）	4	2	2		
演習・実習（所属する専攻分野）	8	4	4		
副科目1 講義・演習（他の専攻分野）	2	2			
副科目2                   又は選択プログラム	2		2		
計	30				

### （3）共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバス等を参照の上履修してください。

#### (4) 主科目について

主科目は所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位を履修する必要があります。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

#### (5) 副科目について

他の専攻分野の「講義・演習」を履修する場合、授業担当教授（他の専攻分野）の許可を得て「履修計画表」を提出してください。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。授業の履修方法等については、授業担当教授と相談してください。

選択プログラムを履修する場合、14頁「⑧選択プログラムに関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

### ③臨床専門医養成コース（歯学系）

#### 【コース概要】

平成19年度設置の「臨床専門医養成コース」は、高度な専門的臨床能力の習得及び臨床研究を理解し実践できる能力を取得することを目的としたコースです。全人的な視野を持った患者診療ならびに国際的視野を持った臨床研究の取得も目指し、近年の専門医制度と同調し、専門医資格取得のための準備期間としても役立つコースです。

具体的には、別途実施するEBMセミナーをコアとするとともに、専門科目として専門医取得に連動した専門科目を履修します。また、副科目として他の専攻分野の開講する科目又は選択プログラムを履修することにより広範な学際性も身に付けます。

このコースには次の専攻分野が参加しています。

歯科保存修復学、歯周病態学、インプラント再生補綴学、咬合・有床義歯補綴学、歯科矯正学、顎口腔再建外科学、口腔顎顔面外科学、歯科放射線学、予防歯科学、小児歯科学、  
歯科麻酔・特別支援歯学

#### (1) 履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（所定様式）を担当係まで提出してください。

#### (2) 履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、30単位です。

共通コア科目及び専門科目として、所属する専攻分野の「講義・演習・実習」、並びに他の専攻分野の「講義・演習」又は「選択プログラム」を履修してください。

	単位数	年次ごとの単位修得（例）			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	2	-----→	2		
研究方法論応用	2	-----→	2		
課題研究	6	-----→		6	
専門科目					
主科目1 講義・演習・実習	9	-----→		9	
主科目2 講義・演習・実習	9	-----→		9	
副科目 講義・演習	2	-----→	2		
計	30				

#### (3) 共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバス等を参照の上履修してください。

#### (4) 主科目について

主科目は所属する専攻分野の「講義・演習・実習」を履修する必要があります。授業科目・担当教員等は、16頁「②専門科目一覧（臨床医専門養成コース（歯学系）」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

#### (5) 副科目について

他の専攻分野の「講義・演習」を履修する場合、授業担当教授（他の専攻分野）の許可を得て「履修計画表」を提出してください。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。授業の履修方法等については、授業担当教授と相談してください。

選択プログラムを履修する場合、14頁「⑧選択プログラムに関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

## ④がんプロフェッショナルコース（臨床腫瘍学教育課程）

### 【コース概要】

平成20年度設置の「がんプロフェッショナルコース」は、がんに特化した臨床研究方法の理解と実践、トランスレーショナルリサーチの実践ができる人材の育成をおこない、地域でのがん均てん化に役立てることを目的としたコースです。

具体的には、メディカル、コメディカル共通のカリキュラムの履修や、多職種によるチーム医療等を実施します。

このコースには、臨床腫瘍医専門科目の「臨床腫瘍学実習」の内容により、下記のコース区分しています。

薬物療法専門医養成コース，放射線治療専門医養成コース，腫瘍外科専門医養成コース  
緩和医療専門医養成コース

### (1) 履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（所定様式）を担当係まで提出してください。

なお、本コースについては、履修する授業科目は、「中国・四国がんプロコンソーシアム <http://www.chushiganpro.jp/>」により定められています。

### (2) 履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、30単位です。

詳細は、次の通りです。

	単位数	年次ごとの単位修得 (例)			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	5	-----→	5		
研究方法論応用 (疫学・医療統計学・臨床研究疫学実践論)	6	6			
その他のコア科目 (悪性腫瘍の管理と治療，医療倫理と法律的・経済的問題，医療対話学，がんチーム医療実習・医療情報学)	3	-----→	3		
がん専門医共通科目 (がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学，臨床検査・病理診断・放射線診断学，臓器別がん治療各論，がん緩和治療)	4	-----→	4		
臨床腫瘍医専門科目					
臨床腫瘍学実習	8	4	4		
専門研究	4	-----→	4		
計	30				

### (3) 共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバス等を参照の上履修してください。

#### **(4) 共通コア科目（その他のコア科目）について**

本コースの履修する授業科目は、すべて定められています。ホームページ掲載のシラバス等を参照の上履修してください。

#### **(5) がん専門医共通科目について**

本コースの履修する授業科目は、すべて定められています。ホームページ掲載のシラバス等を参照の上履修してください。

#### **(6) 臨床腫瘍医専門科目について**

臨床腫瘍医専門科目は、コースごとに設定されたものを履修する必要があります。

「臨床腫瘍学実習」は、ホームページ掲載のシラバスを参照し、コース担当教員、専攻分野教員と相談の上履修してください。

「専門研究」は、共通コア科目の「課題研究」と同様の取り扱いです。11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページを参照の上履修してください。

#### **○「履修手帳」について**

「がんプロフェッショナルコース」の出席把握は、別に配付する「履修手帳」により記録していくものがあります。「履修手帳」の使用方法をよく読み、スケジュール管理をするとともに単位修得に活用してください。

#### **○日程について**

日程については、研究科ホームページ「博士大学院生へのお知らせ」の中にシラバスとして掲載しています。講義日時の変更等があった場合、随時更新しますので、受講前には確認するよう心がけてください。

<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/menu03/index02.HTM>

また、シラバスは毎年3月下旬に翌年度のものを掲載しますので、各自確認して受講してください。



## ⑤高齢者・在宅・緩和医療プロフェッショナルコース

### 【コース概要】

平成20年度設置の「高齢者・在宅・緩和医療プロフェッショナルコース」は、現代の喫緊的課題である地域で在宅・終末期医療にとりくむことのできる人材育成を目的とするコースです。

具体的には、臨床専門医コースのコア科目及び特徴となっている専門科目（事例紹介者とコーディネイター教員による複数者によるケーススタディ）を履修します。

### (1) 履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（所定様式）を担当係まで提出してください。

なお、本コースについては、履修する授業科目は、すべて定められています。

### (2) 履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、32単位です。

指導教授の指導により、共通コア科目及び専門科目として所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位、「老年医学・緩和医療特論ⅠⅡ」4単位及び「口腔ケア学・摂食嚥下機能評価・栄養学」2単位を履修してください。

	単位数	年次ごとの単位修得（例）			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	3	-----→	3		
研究方法論応用 (疫学・医療統計学・臨床研究疫学実践論)	6	-----→	6		
課題研究	5	-----→		5	
専門科目					
高齢者・在宅・緩和医療学（講義・演習） (所属する専攻分野)	4	2	2		
高齢者・在宅・緩和医療学（演習・実習） (所属する専攻分野)	8	4	4		
老年医学・緩和医療特論ⅠⅡ	4	4			
口腔ケア学・摂食嚥下機能評価・栄養学	2	2			
計	32				

### (3) 共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

### (4) 専門科目について

専門科目については、設定されたものを履修する必要があります。コース担当教員及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

## ⑥国際臨床研究コース

### 【コース概要】

平成20年度設置の「国際臨床研究コース」は、所属する専攻分野を超えた大学院生でユニットを組み、共同研究（ユニット研究）を行うコースです。また、より高い専門性と国際感覚を備えるため、海外の研究機関との共同研究・研究交流など国際的な臨床研究を行うとともに「実践英語教育」において使える英語を学びます。また、疫学分野については、4年間で国際的に通用する知識とスキルの習得が可能です。

### (1) 履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（所定様式）を担当係まで提出してください。

### (2) 履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、30単位です。

指導教授の指導により、共通コア科目及び専門科目として所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位及び「実践英語教育」4単位を履修してください。

	単位数	年次ごとの単位修得（例）			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	3	----->	3		
研究方法論応用 (疫学・医療統計学・臨床研究論)	6	----->	6		
課題研究	5	----->			5
専門科目					
国際臨床研究学（講義・演習） （所属する専攻分野）	4	2	2		
国際臨床研究学（演習・実習） （所属する専攻分野）	8	4	4		
実践英語教育	4	4			
計	30				

### (3) 共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバス等を参照の上履修してください。

### (4) 専門科目（所属する専攻分野の「講義・演習」「演習・実習」）について

専門科目は所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位を履修する必要があります。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

### (5) 専門科目（「実践英語教育」）について

ホームページ掲載のシラバス等を参照の上履修してください。

## 授業科目の履修について

### ⑦共通コア科目に関する説明

#### (1) 「研究方法論基礎」及び「研究方法論応用」について

4月から9月までに開講する「研究方法論基礎・応用」を以下の題目数を選択受講しなければなりません。1年次に必要題目数を受講することが望ましいのですが、1年次に履修できなかった題目数は2年次以降に受講してください。

#### ☆各履修コースごとの出席回数等

	一般コース	臨床専門医コース (医学系) 高齢者・在宅・緩和医療コース 国際臨床研究コース	がんプロフェッショナルコース	臨床専門医養成 コース(歯学系)
研究方法論 基礎	25題目以上 (5単位)	15題目以上 (3単位)	25題目以上 (5単位)	10題目以上 (2単位)
研究方法論 応用	20題目以上 (4単位)	「疫学・医療統計 学・臨床研究疫学実 践論」を履修 ※(2)を参照	「疫学・医療統計 学・臨床研究疫学実 践論」を履修 ※(2)を参照	10題目以上 (2単位)

講義日程・シラバスは、ホームページに掲載してありますので、必ず確認のうえ授業に出席するようにしてください。休講・講義室変更等の情報も掲載されます。

ホームページアドレス(事務室からのお知らせ:博士課程大学院生用)

<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/menu03/index02.HTM>

#### ☆単位の認定方法

毎回授業中に提示される質問事項に解答し、「出席及び評価票」(ファイル巻末に綴じ込みの様式)を授業終了時に必ず授業担当教員に提出してください。学生番号、氏名の記入漏れのないよう注意してください。提出された「出席及び評価票」をもとに出席回数を確認し、単位を認定します。なお、11月末に、出席回数の集計をします。研究方法論の授業に出席した場合は、「出席記録欄」に印を付け、各自出席回数を把握しておいてください。

#### ☆「研究方法論」の授業とみなす学内外で開催の講演会等について

「研究方法論基礎」、「研究方法論応用」の授業とみなす学内外で開催される講演会(学会等含む)等に出席された場合も、単位認定の出席回数の対象となりますので、出席の際に、「出席記録」(ファイル巻末に綴じ込みの様式)に開催者認印をもらってください。「研究方法論基礎」、「研究方法論応用」について、それぞれ必要題目数のうち5回まで認定可能です。

- 対象となる学内開催講演会の開催日程等については、開講が決定しましたら、その都度全教室あて文書でお知らせします。
- 学外開催講演会については、指導教授が認めたもののみが対象となります。出席の後、「出席記録」（ファイル巻末に綴じ込みの様式）に開催者認印欄に指導教授の認印をもらってください。
- 岡山医学会の特別講演会及び同医学賞受賞者の講演会を、「研究方法論基礎」の講義として認定しています。参加する場合は、「出席及び評価票」を持参し、受付で認印をもらい、「出席及び評価票」に感想を記入の上、1週間以内に26頁「17事務担当係」へ提出してください。日程等の詳細が決定しましたら、ホームページでお知らせします。

#### ☆創薬生命科学専攻（薬学系）の研究方法論について

医歯薬学総合研究科博士後期課程創薬生命科学専攻（薬学系）が開講する研究方法論も受講することができます。日程の詳細や講義題目はホームページに掲載していますので、希望のある方は確認して出席してください。

出席した場合は、「出席及び評価票」に授業中に提示された質問事項に解答し、授業終了時に必ず授業担当教員に提出してください。

#### (2)「研究方法論応用（疫学・医療統計学・臨床研究疫学実践論）」について

下記のコースを履修した学生については、研究方法論応用として、4月から9月の土曜日の集中講義として開講する「疫学」・「医療統計学」・「臨床研究論・疫学実践論」を受講しなければなりません。

講義日程・シラバスは、ホームページに掲載してありますので、必ず確認のうえ授業に出席するようにしてください。

- ・ 臨床専門医コース（医学系）
- ・ がんプロフェッショナルコース
- ・ 高齢者・在宅・緩和医療プロフェッショナルコース
- ・ 国際臨床研究コース

### (3) 「課題研究」及び「専門研究（がんプロフェSSIONALコース）」について

博士課程の学生が研究の成果を発表する「課題研究セミナー」を夏季と秋季に開催しています。博士課程1年次、2年次の学生もこの課題研究セミナーに参加することが必要とされています。下記のとおり出席し、内1回発表することのより「課題研究」または「専門研究」の単位が認定されます。

	一般コース 臨床専門医コース（医学系） 高齢者・在宅・緩和医療コース 国際臨床研究コース	臨床専門医養成コース（歯学系）	がんプロフェSSIONALコース
出席	通算6回以上出席（5単位）	通算6回以上出席（6単位）	通算4回以上出席（4単位）
発表	内1回発表 【医学系】大学院修了（学位申請時）までに1回発表 【歯学系】4年次に1回発表	内2回発表 1回は1～2年次にEBDセミナー形式で実施。 2回目は3～4年次での研究発表とする。なお研究発表は従来の課題研究セミナーで発表しても良い。	内1回発表

○課題研究セミナーの日程及び発表登録方法等はホームページでお知らせしますので、各自確認してください。

○1年次から3年次までの3年間毎年出席することが望ましいのですが、やむをえず出席できない年があっても、大学院修了までに必要回数出席すれば構いません。

○歯学系の場合：年2回以上（1回は指導教授が所属する大講座、1回は研究に関連する他の大講座のセミナー）に出席してください。大学院修了までに1回は発表者となり（4年生の時に発表してください。）通算6回以上の出席が必要です。

### (4) 授業出席回数集計結果のお知らせ方法について

研究方法論基礎、研究方法論応用及び課題研究セミナーの授業出席回数集計結果についてはホームページにてお知らせします。以下の時期になりましたら、必ず各自ホームページで確認してください。

「研究方法論基礎」・「研究方法論応用」の出席回数

第1回掲載予定日 平成21年11月末

第2回掲載予定日 平成22年4月末

課題研究セミナーの出席回数

第1回掲載予定日 平成21年9月末（平成21年度夏季セミナーまで集計）

第2回掲載予定日 平成21年11月末（平成21年度秋季セミナーまで集計）

## ⑧選択プログラムに関する説明

本研究科では、「現代の医療に関する課題」に対応するため、下記の選択プログラムを設置しました。これらのプログラムは、下記の「対象となるコース」を履修した学生について選択履修可能です。

なお、これらの科目は、年度により改定されることがありますので、注意してください。

### ○平成21年度選択プログラム名

脳卒中特論	2単位	
心筋梗塞特論	2単位	
メタボリックシンドローム特論	2単位	
アンチエイジング特論（医学）	2単位	
アンチエイジング特論（歯学）	2単位	
老年医学・緩和医療特論Ⅰ	2単位	現在のところ平成21年度のみ履修可能です
老年医学・緩和医療特論Ⅱ	2単位	現在のところ平成21年度のみ履修可能です
口腔ケア・摂食嚥下機能評価・栄養学	2単位	現在のところ平成21年度のみ履修可能です
基礎統計学	2単位	

### ○対象となるコース

- 一般コース
- 臨床専門医コース（医学系）
- 臨床専門医養成コース（歯学系）

### ○履修方法

「選択プログラム」は上記のコースの学生の副科目として履修することができます。

履修計画表提出後、都合が悪くなり、履修科目変更の必要がある場合は、担当係へ申し出てください。

### ○日程について

日程については、研究科ホームページ「博士大学院生へのお知らせ」の中にシラバスとして掲載しています。講義日時の変更等があった場合、随時更新しますので、受講前には確認するよう心がけてください。

<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/menu03/index02.HTM>

また、シラバスは毎年3月下旬に翌年度のものを掲載しますので、各自確認して受講してください。

## 2. 授業科目・カリキュラム

### ①専門科目一覧(一般コース・臨床専門医コース(医学系))

専攻	授業科目名	担当教授	講義・演習	演習・実習	専攻	授業科目名	担当教授	講義・演習	演習・実習	
生体制御科学専攻	細胞組織学	佐々木順造	2単位	4単位	機能再生・再建科学専攻	細胞生物学	許 南浩	2単位	4単位	
	人体構成学	大塚 愛二	2単位	4単位		耳鼻咽喉・頭頸部外科学	西崎 和則	2単位	4単位	
	システム生理学	成瀬 恵治	2単位	4単位		眼科学	大月 洋	2単位	4単位	
	分子医化学	二宮 善文	2単位	4単位		整形外科	尾崎 敏文	2単位	4単位	
	遺伝情報動態学	筒井 研	2単位	4単位		形成再建外科学	木股 敬裕	2単位	4単位	
	循環器内科学		2単位	4単位		口腔生化学	滝川 正春	2単位	4単位	
	心臓血管外科学	佐野 俊二	2単位	4単位		口腔形態学	山本 敏男	2単位	4単位	
	麻酔・蘇生学	森田 潔	2単位	4単位		生体材料学	鈴木 一臣	2単位	4単位	
	救急医学	氏家 良人	2単位	4単位		歯科保存修復学	吉山 昌宏	2単位	4単位	
	薬理学	西堀 正洋	2単位	4単位		口腔機能解剖学	杉本 朋貞	2単位	4単位	
	臨床薬理学	千堂 年昭	2単位	4単位		口腔生理学	松尾 龍二	2単位	4単位	
	歯科薬理学	北山 滋雄	2単位	4単位		インプラント再生補綴学	窪木 拓男	2単位	4単位	
	衛生代謝制御学	成松 鎮雄	2単位	4単位		歯科矯正学	山城 隆	2単位	4単位	
	膜情報解析学	勝 孝	2単位	4単位		顎口腔再建外科学		2単位	4単位	
	薬効解析学	亀井 千晃	2単位	4単位		咬合・有床義歯補綴学	皆木 省吾	2単位	4単位	
	神経ゲノム学	筒井 公子	2単位	4単位		歯科麻酔・特別支援歯学	宮脇 卓也	2単位	4単位	
	細胞生理学	松井 秀樹	2単位	4単位		社会環境生命科学専攻	病原細菌学	小熊 恵二	2単位	4単位
	生化学	竹居 孝二	2単位	4単位			病原ウイルス学	山田 雅夫	2単位	4単位
	神経情報学		2単位	4単位			口腔微生物学		2単位	4単位
	精神神経病態学		2単位	4単位			行動小児歯科学	下野 勉	2単位	4単位
	脳神経内科学	阿部 康二	2単位	4単位			医薬基盤化学	綿矢 有佑	2単位	4単位
	発達神経病態学	大塚 頌子	2単位	4単位			衛生微生物化学	三好 伸一	2単位	4単位
	脳神経外科学	伊達 勲	2単位	4単位			遺伝子機能化学	岡本敬の介	2単位	4単位
	病態制御科学専攻	病理学(免疫病理)	松川 昭博	2単位			4単位	生命倫理学	栗屋 剛	2単位
細胞化学		保田 立二	2単位	4単位	疫学・衛生学		土居 弘幸	2単位	4単位	
消化器・肝臓内科学		山本 和秀	2単位	4単位	医療政策・医療経済学		(浜田 淳)	2単位	4単位	
腎・免疫・内分泌代謝内科学		横野 博史	2単位	4単位	公衆衛生学		荻野 景規	2単位	4単位	
小児医科学		森島 恒雄	2単位	4単位	法医学		宮石 智	2単位	4単位	
皮膚科学		岩月 啓氏	2単位	4単位	医療情報学		太田 吉夫	2単位	4単位	
泌尿器病態学		公文 裕巳	2単位	4単位	総合内科学		小出 典男	2単位	4単位	
産科・婦人科学		平松 祐司	2単位	4単位	老年医学		光延 文裕	2単位	4単位	
口腔病理学		長塚 仁	2単位	4単位	総合歯科学		鳥井 康弘	2単位	4単位	
歯周病態学		高柴 正悟	2単位	4単位	予防歯科学	森田 学	2単位	4単位		
病理学(腫瘍病理)		吉野 正	2単位	4単位						
免疫学		中山 睿一	2単位	4単位						
腫瘍ウイルス学		加藤 宣之	2単位	4単位						
分子遺伝学		清水 憲二	2単位	4単位						
腫瘍・胸部外科学			2単位	4単位						
血液・腫瘍・呼吸器内科学		谷本 光音	2単位	4単位						
放射線医学		金澤 右	2単位	4単位						
消化器・腫瘍外科学			2単位	4単位						
口腔顎顔面外科学		佐々木 朗	2単位	4単位						
歯科放射線学		浅海 淳一	2単位	4単位						

## ②専門科目一覧(臨床専門医養成コース(歯学系))

学生の所属する専攻分野	専門医	「専門科目」
歯科保存修復学	歯の保存治療専門医 接着歯学認定医	接着歯学臨床応用学 審美歯学臨床応用学
歯周病態学	歯の保存治療専門医 歯周病専門医	口腔感染・炎症制御学 歯周病治療専門学 歯髄・歯内病変治療専門学
インプラント再生補綴学	補綴歯科専門医 日本顎関節学会認定医 日本口腔インプラント学会認定医 口腔リハビリテーション認定医	高度補綴治療学 顎関節症・口腔顔面痛治療学 口腔インプラント義歯学 口腔リハビリテーション学
咬合・有床義歯補綴学	補綴歯科専門医 日本顎関節学会認定医 日本老年歯科医学会認定医	高度義歯補綴学 下顎機能異常治療学 顎顔面補綴治療学 高齢者歯科医療学
歯科矯正学	矯正歯科専門医	小児矯正学 成人矯正学
顎口腔再建外科学	口腔外科専門医	口腔・顎・顔面外科手術学 口腔内科学および口腔・顎・顔面インプラント治療学
口腔顎顔面外科学	口腔外科専門医	口腔外科治療学 口腔外科疾患病棟管理学
歯科放射線学	顎口腔放射線専門医 日本口腔診断学会認定医	口腔診断学 歯科医療情報管理学
予防歯科学	予防歯科認定医 地域歯科保健認定医	E B D応用学 臨床予防歯科学 実践地域歯科保健学
小児歯科学	小児歯科専門医	臨床小児歯科学 行動歯科学
歯科麻酔・特別支援歯学	歯科麻酔専門医 日本障害者歯科認定医	歯科全身管理学 口腔顔面痛・ストレス管理学 口腔機能支援歯学

上記「専門科目」から指導教授との相談のうえ2科目を選択履修する。



### 3. 成績評価基準等

#### 大学院医歯薬学総合研究科博士課程における成績評価方法について

##### (1) 成績評価

成績評価は、100点を満点とし、60点以上を「合格」、59点以下を「不合格」とする。評価の評語は、以下のとおりとする。ただし、授業科目によっては、その評価を「修了」又は「不可」とすることができる。

A+	90点以上
A	80～89点
B	70～79点
C	60～69点
F	60点未満

##### (2) 成績評価の基準

大学院医歯薬学総合研究科博士課程における成績評価は、授業科目終了時に行われる試験、講義等における発表・討議など授業への取組み、レポート、小テスト及び研究の成果等を総合的に評価して行う。この総合評価に基づき、60点以上を単位認定基準とする。

#### 「成績評価等に対する問合せ」の対応について

(1) 学生は、成績評価等に対する疑問などがある場合には、授業担当教員又は教務担当係に対して成績評価の方法及び内容等について問い合わせることができる。

(2) 授業担当教員等から十分な回答が得られない場合には、学務委員会に申し出ることができる。

(3) 学務委員会は、上記の申し出があった場合は、調整等を行うものとする。

#### 4. 研究指導について

毎年度当初、全大学院生（休学者、留学者を除く）に対して、指導教授から1年間の研究指導計画が明示されることになっています。これは、学生の研究計画に基づき、指導教授が作成する研究指導計画書によります。

毎年度4月に学生ごとの研究指導計画書（下記様式）のファイルを26頁「17事務担当係」から各専攻分野に送付しますので、各自1年間の「研究計画」を記入し指導教授に提出してください。指導教授は、研究指導計画等を記入し、学生に明示しますので、確認してください。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻 研究指導計画書

【 年 月 日作成】

学生番号			フリガナ 学生氏名			
専攻分野						
課程	博士課程	年次	1	入学年度	平成 20 年度	
出身大学	学部	大学		学部	学科 ( 年 月 卒業)	
	修士	大学大学院		研究科	専攻 ( 年 月 修了)	
		修士論文 題 目				学位の名称
						指導教員名
研究題目						
研 究 指 導 計 画	指導教員					
	研究計画（学会発表、論文作成等を含む）：学生が記入					
研究指導計画：指導教員が記入						

## 5. 学位論文の評価基準等

### 学位論文の評価基準

学位論文は査読制度のある学術雑誌に掲載（掲載予定を含む）されたもの又は掲載された内容を含むものであるなど、それぞれの専門分野において評価を受け、認められているものであることを基準とする。

なお、学位論文は各学系の要件を満たさなければならない。

#### ■学位論文（医学系）

学位論文は自著論文とし、単著であることを原則とする。ただし、共著のものも次の条件を充たすものは認められる。

- (1)学位論文申請者が筆頭者であり、共著者数は内容に見合った数で且つ10名以内が望ましい。申請者を除いた共著者数が11名以上の場合は、指導教授の理由書を添付すること。
- (2)掲載誌は、[Current Contents] [Embase] [Index Medicus] のいずれかに集録された欧文誌に限る。
- (3)学位論文とすることに対する共著者全員の承諾書を添付すること

#### ■学位論文（歯学系）

学位論文は自著であって、論文の内容が学術雑誌に印刷公表されたもの、又は学術雑誌に投稿中であって、掲載証明書のあるものに限る。

学位論文の形式は、次の項目のいずれかに該当するものとする。

- 一 単著論文
- 二 学術雑誌に公表したいくつかの論文（共著論文を含む）の内容をまとめて、単著論文（但し自費製本）としたもの
- 三 医歯学総合研究科教授会歯学系会議（以下「歯学系会議」という。）で認めた国際的な学術雑誌に掲載された共著論文  
（但し英語論文で、原則として筆頭著者でなければならない）又はこれに修正等を加えて、単著論文（但し自費製本）としたもの  
ただし、共著論文で学位を申請する場合、1論文1回限りとして、共著者の同意を得たものでなければならない。

### 修了認定の基準

- ・博士課程に4年以上在学し、30単位以上を修得していること
- ・研究指導を受けていること
- ・学位論文の審査及び最終試験に合格していること

課程修了の基準は、上記の修了に係る要件を満たすものとする。ただし、在学期間に関しては、「岡山大学大学院医歯薬学総合研究科修業年限の特例（4年未満修了）に関する申合せ事項」により承認された者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

## 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科修業年限の特例（4年未満修了）に関する申合せ事項

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程の学位授与に関する内規第9条に基づき、岡山大学大学院学則第36条第3項に規定する「在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。」に係る学位申請及び審査については、下記のとおり取り扱うものとする。

### 1 要件

- (1) 修業見込年数が3年又は3年半の者について取り扱う。
- (2) 学位申請論文は、次の各号に該当するものとする。
  - ① 単著又は共著。ただし、共著の場合は筆頭著者であること。
  - ② 著名な英文誌に掲載され、かつ、学位論文として完成された形と内容を持つこと。  
なお、著名な英文誌とは、原則としてI F 3. 0以上のものとする。I F 3. 0未満の場合は理由書により学務委員会において審議するものとする。
  - ③ 共著の場合は、指導教授又は直接指導者（本研究科所属教員）1名以上が含まれていること。

### 2 学位申請資格の審査

前項の要件を満たした者が学位申請をしようとする場合は、次の書類を提出し、学務委員会において学位申請資格の審査を受けなければならない。

提出書類

- ① 主論文
- ② 主論文が未発表の場合は、掲載予定証明書
- ③ 履歴書
- ④ 研究業績一覧
- ⑤ 指導教授の推薦書

### 3 申請時期

学位申請資格審査の申請時期は、学位授与日より次の各月とする。

学位授与日	申請月
9月30日	5～6月
3月25日	11～12月